

JAO10月定例研修会抄録

Navigator[®]システムを用いたガイドドサージェリーの臨床的ポイント —T3[®] DCD[®]インプラントの性能を最大限に生かすための治療戦略と埋入術式—

相宮 秀俊

インプラント治療の成功を左右する要因は、インプラントの形状・表面性状、既存骨の解剖学的形態、コネクションシステム、アバットメント形態、インプラントの位置など様々である。その中でも、適切なインプラントの埋入位置が長期的安定につながることは、多くの文献で報告されている。全身疾患、局所的な1歯単位・隣在歯・対合歯の診断だけでなく、歯列・咬合関係の丁寧な診査が重要である。

現在は矯正治療を併用する症例も多く、埋入位置の診断が複雑化している。BioNa[®]によるデジタルシミュレーションとサージカルガイドシステムであるNavigator[®]を用いることが、埋入位置決定に大きな助けとなっている。

しかしながら、サージカルガイドを使用する際には注意点がある。それは、患者にガイドが使用可能な開口量が得られ、適正な位置に設置することが可能であること。ドリリング時に動かないように固定すること。さらには、インプラントの最終的な埋入深度の入念なチェックをすることである。3iインプラントの特徴であるプラットフォームスイッチングの特性を最大限に活かすには、直視によるプラットフォームの位置の確認が良好な予後に繋がる。

一旦患者に埋入したインプラントを、動かすことはできない。であるならば、将来を見据えて確実に埋入を行いたい。予知性、審美性、清掃性の向上のみならず、安全、安心のインプラント治療の実践について、臨床的キーポイントを整理してみたいと考える。

相宮秀俊 (あいみや ひでとし)

愛知県名古屋市開業 吹上みなみ歯科

略歴

2004年3月 愛知学院大学 歯学部 卒業
2004年～ 愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座 入局
2004年3月～2015年3月 医療法人 至誠会 二村医院 勤務
2015年5月 吹上みなみ歯科開設
2019年3月 歯学博士 取得
現在に至る

愛知学院大学歯学部歯科放射線学講座 講師 (非常勤)
東海歯科医療専門学校 (顎口腔機能学) 講師
ナコノ福祉歯科医療専門学校 (歯科放射線学) 講師

所属学会

日本顎咬合学会 (認定医)
日本口腔インプラント学会 (認証医)
OJ正会員
日本歯周病学会
日本臨床歯周病学会
日本歯内療法学会
日本歯科放射線学会
日本臨床歯科学会 (名古屋SJCD)

所属 スタディー

JIFI
NOAH(名古屋臨床咬合研究会)副会長

主な著書 論文

- 2010年 7月 Step ahead 35 interview (QDT : クインテッセンス出版)
- 2010年12月 マスターピース審美性、機能性を兼ね備えた義歯治療 (QDT : クインテッセンス出版)
- 2014年11月 プロビジョナルの調整方法 前歯 (デンタルダイヤモンド社)
- 2015年 1月 プロビジョナルの調整方法 臼歯 (デンタルダイヤモンド社)
- 2017年10月 The クインテッセンス 高齢者の QOL を考える インプラントオーバーデンチャーの提案
- 2018年 8月 広範囲中等度慢性歯周炎患者に対し MTM を併用した全額補綴治療の実例 (歯界展望)
- 2018年12月 臨床スクウェアケースプレアデバイス (デンタルダイヤモンド社 デンタルダイヤモンド社)
- 2019年 4月 学位論文 歯科用コーンビーム CT におけるボクセル値の安定性
- 2019年 5月 ゴシックアーチの有効的活用法 (The クインテッセンス クインテッセンス出版)
- 2020年 4月 インプラントオーバーデンチャー3つの治療戦略 (クインテッセンスインプラントロジー)
- 2021年 2月 The クインテッセンス 特集 高齢者の QOL を考える インプラントオーバーデンチャーの提案
- 2021年 3月 次の一手を見据えた治療戦略 歯界展望 特集